# 現代女形“神ひろしSHOW”1月＆2月は『新春・胸キュン特集』

現代女形“神ひろしSHOW”1月＆2月は『新春・胸キュン特集』。「ショービズ男性パフォーマーNO1」の神ひろしの歌とダンスが激安2,000円で！
世界を股にかける“現代女形”神ひろし(じん ひろし、SEOプロダクション所属)が、2014年11月 から自身の本拠地・新宿J28スタジオで毎週土曜・日曜日に、歌とダンスとトークショー『神ひろしSHOW』の一年間のロングランを展開中だが、12月半ばのわずか1ケ月半にして、インパクトある歌とダンスと金髪ヘアーや巨大アフロのファッションで、「現代女形の神ひろしは、日本のショービズ男性パフォーマーNO1」でも有ったと認知され、業界関係者からの高い関心と評価を得ている。
特に、流れるようなライブ感の終盤戦で、世界が評価したまさかの女形「王女メディア」の艶姿で登場した神ひろしに、観客は唖然とすると同時に感動と賛嘆の声を呼んだ。
このシーンは一年間を通して形を変えて演じられる他、ゲストには、「マグマ大使」や「プレイガール」で一時代を築いた應蘭芳（女優）、西川純代（元、日劇ダンシングチーム）、矢口美香（カリスマベリーダンサー）、小森美紀（ダンサー・「全米TVスターサーチ」日本人初グランドチャンピオン）、月乃聖五（スピリチュアルカウンセラー・Vocal）等の女優陣が花を飾った。
また、岩上蓉美（Y.D.U）が手塩にかけた高校生ダンサーズが参加出演する等、盛り沢山の話題も提供した。

2015年の神ひろしSHOW『新春・胸キュン特集』は、クロスジェンダーなパフォーマーとして、中高生から80代の年齢性別を超えて湧かせた神ひろしのショーマンシップが炸裂！今度はどんなファッションで出てくるのか、歌やダンスとトーク以外でも多いに期待されている。
また、女装男子キラリも注目株。更に、この『神ひろしSHOW』は新人ダンサーや歌手の登竜門として人気を博しつつあります。

さて、『胸キュン』は、イエロー・マジック・オーケストラの「君に胸キュン」（1983年）のヒットにより広く知られ、1983年、カネボウ化粧品の「レディ80
サンケーキ」のCMでキャッチコピーとして使用され、一般的な言葉として定着しました。
「胸キュン」は現在迄は殆ど死語のように扱われていたが、今再び、「壁ドン」と合わせて復活、「神ひろしSHOW」で、どんな「胸キュン」サプライズシーンが登場するか多いに期待されるところです。

なお、「神ひろしSHOW」は、神ひろしが「王女メディア」で注目された舞踊演劇団「カンパニーEAST」のプロジェクト ダンサー俳優の神ひろし、舞踊演出振付家かわらさきけんじ、演劇制作プロデューサー妹尾芳文 の3人が「新宿の新たな伝説をつくろう」との想いを胸に再集結。新宿「J28スタジオ」から発信しています。
入場料金は前売り2,000円(当日2,500円)。
米ニューヨーク・タイムズや英ガーディアン紙でも高く評価された「王女メディア」の心髄を、気軽に観ることができる“エコおもてなしショー”です。
同公演は10人以上で貸し切りも可能で、新年会他、誕生会等の各種パーティにもご家族や会社で利用いただけます。
詳細： http://j28studio.com/archives/3051.html

【2015年1月 ＆2月の出演者詳細】
◆レギュラーメンバー◆
・神ひろし
・キラリ☆シンガー（女装男子）

◆スペシャルゲスト；應蘭芳（お休み日もあります）

■神ひろし：
劇団四季出身。関西学院大学卒。日本ジャズダンス芸術協会・日本振付家協会の理事を務めた経歴を持つ。 日本ダンス自己整体協会( http://j-dass.com/
)代表も勤め、ダンスを使った「ダンス自己整体(セルフ整体)」をオール世代対応で指導。ジャズダンス以外に、コンテンポラリーダンス、ヒップホップ、バレエ、ベリーダンス、日本舞踊の全てをこなすオールマイティダンサー。ディスコイベントもオーガナイズ。
著作『神ひろしのスピリチュアルダンス』
代表作 ・『王女メディア』(原作：エウリピデス)
・『ハムレット』(原作：シェイクスピア、芸術監督：かわらさきけんじ)
・ミュージカル『モーリス』(原作：E・M・フォースター)
・ミュージカル『どろろ』(原作：手塚治虫、台本演出振付：神ひろし)
・ダンスオペラ『サロメ』(演出振付：池田瑞臣)
・ダンスオペラ『ニジンスキー』(芸術監督：かわらさきけんじ)

■應蘭芳：
イギリスロンドン生まれ。父親は英国籍の中国人、母親は日本人のハーフ。
1966年（昭和41年）、『マグマ大使』（ピープロ、フジテレビ）に「モル」役で出演して人気者に。 1968年（昭和43年）、芸名「三瀬
滋子」を「應蘭芳」に変え、『プレイガール』（東映、東京12チャンネル）に、初代メンバーとして出演。
同年、ビクターレコードより「失神ソング」第二弾、『痛い痛い痛いのよ』が発売されるが、当時としてはあまりに過激な歌詞内容のため、『渚の歓喜』と併せて「放送禁止歌曲」にされてしまった。
現在は舞台、芝居を中心に活躍。又長いキャリアを持つスクーバーダイビングやスカイダイビングなどで世界を回った、それらの体験を生かした体験談の講演も多い。
日本落下傘スポーツ連盟理事長。
代表作 映画 ・『素晴らしき娘たち』（1959年、東映） ・『新宿育ち』（1968年、松竹）
テレビ作品 ・『マグマ大使』（1966年 1967年、フジテレビ）） ・『プレイガール』（1969年 1971年、東京12チャンネル）

■ゲスト
・シーナ（矢口美香Dance art Ateler Pasha）
・佐々木名央（ヒロファンミュージック）
・咲羽癒 舞蘭（サハヤ ムーラン）

【プロジェクトスタッフ】
■かわらさきけんじ(監修・演出・振付)：
西野バレエ団を皮切りに、東宝ミュージカルの『プロミセス・プロミセス』『屋根の上のバイオリン弾き』で活躍。劇団四季では『アプローズ』『ジーザスクライスト・スーパースター』の舞台に立つ。のち、独自なオリジナルミュージカルで活躍の神ひろしと演劇プロデューサーの妹尾芳文の3名で舞踊演劇団「カンパニーEAST」を結成。EASTの芸術監督に就任。
1996年、1997年、1999年と、3度の海外ギリシャ・キプロスでのEASTの『王女メディア』(神ひろし主演)公演を、演出振付家としてオールスタンディングの成功と喝采に導く。

■妹尾芳文（プロデューサー）：
劇団昴・石原プロを経て、SEOプロダクションを設立。映画化もされたE・M・フォスターの小説『

モーリス』の日本に於ける世界で初の舞台化権を獲得、神ひろし主演で2度の上演。又、2000年2月9日
付けで、1999年の「日希修好百年祭」で、本場ギリシャでギリシャ悲劇『王女メディア』の約1ケ月に渡る公演を成した「カンパニーEAST」を代表して、国際親善功労者として、表彰状を授与される。

【開催概要】
・ イベント名：神ひろしSHOW
・ 開催期間 2014年11月 から2015年11月 までの1年間
・2015年1月 &2月の上演スケジュール：
1月 17日（土）18日（日）・24日（土）25日（日）・31日（土）2月1日（日） /2月7日（土）8日（日）・14日（土）15日（日）・21日（土）22日（日）
・毎週土曜・日曜日 開演
土曜日 PM7:00.日曜日PM6:00
・会場：J28スタジオ
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-2-10 栄立新宿ビルB102
・入場料 ：
前売り2,000円(当日2,500円)
※別途ドリンク代500円、新宿区民は1ドリンク無料

（特記事項）誕生会の貸し切りは神ひろしがハッピーバースディをお名前入りで歌います。
会社のパーティや、入学卒業・就職・結婚祝いでは、代表者と神ひろしのトークショーも可能。
動画・写真など自由に撮影して、思い出の記念に、会社のPRやCMに使えます。

【問い合わせ先】
TEL ： 050-5876-2635 （03-3369-7486 ）
MAIL： school@j28studio.com

---

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com